

5 監 査 第 5 9 号  
平成25年8月20日

京丹後市長 中 山 泰 様

京丹後市監査委員 東 幹 夫

京丹後市監査委員 足 達 昌 久

平成24年度京丹後市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された平成23年度京丹後市水道事業会計及び京丹後市病院事業会計の決算について審査したので、別紙のとおり意見書を提出します。

平成 24 年度

京丹後市企業会計決算審査意見書

京丹後市水道事業会計

京丹後市病院事業会計

京丹後市監査委員

## 目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
1	水道事業	2
(1)	事業の概況	2
(2)	予算執行状況	2
ア	収益的収入及び支出	2
イ	資本的収入及び支出	3
(3)	経営成績	4
(4)	財政状態	5
(5)	むすび	7
2	病院事業	8
(1)	事業の概況	8
ア	入院患者の状況	8
イ	外来患者の状況	8
ウ	訪問看護事業の状況	9
エ	通所リハビリテーション事業の状況	9
(2)	予算執行状況	9
ア	収益的収入及び支出	9
イ	資本的収入及び支出	10
(3)	経営成績	12
(4)	財政状態	13
(5)	むすび	15
	決算審査資料	17

## 第1 審査の概要

### 1 審査の対象

平成24年度京丹後市水道事業会計決算  
平成24年度京丹後市病院事業会計決算  
上記各会計決算附属書類

### 2 審査の期間

平成25年6月27日から平成25年8月20日

### 3 審査の方法

審査にあたっては、市長から提出された各事業会計の決算書及び附属書類が、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、計数が正確であるか、各事業の経営成績並びに財政状態が適正に表示されているかを確認するため、関係諸帳簿と照合したほか、関係職員から説明を聴取して実施した。

## 第2 審査の結果

審査に付された各事業会計決算書及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、これらに記載された計数は正確で、経営成績及び財政状態を適正に表示していると認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

なお、文中及び表中の数値は、四捨五入を基本として表示しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

## 1 水道事業

### (1) 事業の概況

事業の概要は、別表1のとおりである。

給水戸数は13,331戸であり、前年度に比べて22戸増加しているが、給水人口は251人減少して31,398人となっている。給水人口は、平成22年度より住基人口から定住人口に見直している。

年間総配水量は4,371,726 m<sup>3</sup>であり、前年度に比べて26,923 m<sup>3</sup>の増加となっており、年間総有収水量は3,385,708 m<sup>3</sup>と41,600 m<sup>3</sup>の減少となっている。

有効率は1.72ポイント、有収率は1.43ポイント前年度に比べ共に下がっており、漏水等が懸念されるため老朽管布設替や漏水点検を積極的に推進されたい。

年間総有収水量は、給水人口の減少等により年々減少傾向にあるが、今年度は夏期の水不足による節水要請や暖冬による融雪水の減少等の影響により、大幅な減少となった。

給水人口の減少及び社会経済情勢や生活様式の変化に伴う市民の節水意識の定着等があるため、水需要の変動には常に注視していかねばならない。

管路の状況は、次のとおりである。

(単位：km、%)

区 分	平成24年度	平成23年度	平成22年度
管路総延長	347.6	333.6	330.6
石綿管総延長	9.9	10.5	11.7
石綿管布設率	2.8	3.1	3.5

管路総延長347.6kmのうち、石綿管が9.9km(2.8%)で0.6kmの改善が図られているが、有収率の向上を図るうえからも、引き続き老朽管の計画的な布設替等が今後も必要である。

### (2) 予算執行状況(税込)

#### ア 収益的収入及び支出

収益的収入の予算執行状況は、次のとおりである。(決算書P1, P2参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
水道事業収益	611,752	627,206	15,454	102.5
営業収益	607,088	620,022	12,934	102.1
営業外収益	4,664	7,184	2,520	154.0

収益的収入である水道事業収益は、予算額6億1,175万2千円に対して決算額6

億 2,720 万 6 千円で、収入率は 102.5%となっている。これは、給水収益が予算額を 1,248 万円上回ったことによるものである。

収益的支出の予算執行状況は、次のとおりである。(決算書 P1, P2 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	不用額	執行率
水道事業費用	781,133	768,056	13,077	98.3
営業費用	579,845	569,746	10,099	98.3
営業外費用	77,891	75,016	2,875	96.3
特別損失	123,297	123,294	3	99.9
予備費	100	0	100	0.0

収益的支出である水道事業費用は、予算額 7 億 8,113 万 3 千円に対して決算額 7 億 6,805 万 6 千円で、執行率は 98.3%である。不用額の主なものは、営業費用では、原水及び浄水費で 240 万 5 千円、配水及び給水費で 191 万円、減価償却費で 402 万 5 千円であり、営業外費用では、企業債利息の減によるものである。

#### イ 資本的収入及び支出

資本的収入の予算執行状況は、次のとおりである。(決算書 P3, P4 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
資本的収入	866,022	577,115	△288,907	66.6
加 入 金	4,802	5,895	1,093	122.8
企 業 債	447,400	303,900	△143,500	67.9
出 資 金	361,700	218,200	△143,500	60.3
補 償 金	52,120	49,120	△3,000	94.2

資本的収入は、予算額 8 億 6,602 万 2 千円に対して決算額 5 億 7,711 万 5 千円で、収入率は 66.6%となっている。これは、翌年度繰越額に係る財源充当額として 3 億 3,730 万 4 千円を要することによるものである。

資本的支出の予算執行状況は、次のとおりである。(決算書 P3, P4 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	1,178,383	787,872	337,304	53,207	66.9
建設改良費	954,901	564,390	337,304	53,207	59.1
企業債償還金	223,482	223,482	0	0	100.0

資本的支出は、予算額 11 億 7,838 万 3 千円に対して決算額 7 億 8,787 万 2 千円で、執行率は 66.9%である。不用額の主なものは、建設改良事業費 5,320 万 7 千円

である。

主な施設設備の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
建設改良 (1,500万円 以上)	丹後第7水源地電気計装設備工事	38,772
	小浜浄水場敷地整備工事	16,451
	善王寺浄水場改良工事	278,308
	善王寺浄水場改良工事その2	52,919
	掛津配水池築造工事	51,320
	掛津配水池電気計装設備工事	26,901

これらの工事をはじめとして、安全で良質な水道水の安定供給を図るために、老朽管の更新工事や浄水施設の整備等が実施されている。将来を見通した的確な財務分析を行い、計画的かつ効率的に事業を進められるよう要望するものである。また、災害対策や緊急時の危機管理等の強化といった点にも留意して、水道事業の担う役割を果たしていただきたい。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額2億1,075万7千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填をしている。

### (3) 経営成績（税抜）

損益計算書による経営成績は、次のとおりである。（別表3参照）

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
総 収 益 (A)	592,601	600,216	616,838	602,086	609,864
総 費 用 (B)	758,317	625,226	660,519	580,321	567,668
純 利 益	△165,716	△25,010	△43,681	21,765	42,196
比 率 (A)/(B)	78.1	96.0	93.4	103.8	107.4

総収益5億9,260万1千円に対して総費用は7億5,831万7千円で、差し引き1億6,571万円6千円の純損失となっている。この結果、前年度繰越利益剰余金5億6,137万円と差引きし当年度未処分利益剰余金は3億9,565万4千円（別表8）と大幅に減少となった。

総収益は、前年度に比べて761万5千円（1.3%）減少した。これは、営業収益の給水収益（水道使用料）が夏期の水不足による節水啓発の影響もあり690万9千円減少したことによるものである。

総費用は、前年度に比べて1億3,309万1千円（21.3%）の増加となり、昨年に続

いて経常収支が赤字となった。これは、営業費用が 1,237 万円増加したことに加え、特別損失で 1 億 2,026 万 5 千円の増加によるものである。特別損失の内訳は不納欠損 3,211 万 5 千円と善王寺浄水場及び大野池浄水場の資産減耗費 8,963 万 3 千円である。

有収水量 1 m<sup>3</sup>当りの供給単価及び給水原価は、次のとおりである。

(別表 1 参照)

(単位：円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度
供給単価 ①	171.97	171.90	171.74	171.74	173.00
給水原価 ②	188.02	181.99	157.75	155.14	164.13
利益 ①－②	△16.05	△10.09	13.99	16.60	8.87

供給単価は前年度とほぼ同額であるが、給水原価が 6 円 3 銭高くなっている。その結果、有収水量 1 m<sup>3</sup>当りの赤字額は前年度に比べて 5 円 96 銭増加し 16 円 5 銭となった。これは給水人口の減少とともに、節水意識の向上、節水型家電製品の普及により給水収益が減っていることと、施設整備等で減価償却が膨らみ続ける傾向から、慢性的な赤字経営体質になっていることを意味する。

また、総収支比率は、別表 4 のとおり 78.1%と 3 年連続の純損失で、経常収支比率も 2 年連続単年度赤字となる結果となった。

#### (4) 財政状態 (税抜)

貸借対照表による財政状態は、次のとおりである。(別表 5～8 参照)

(単位：千円)

区 分		平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
資 産	固 定 資 産	7,370,936	7,202,853	7,108,300
	流 動 資 産	1,139,945	1,134,995	945,891
	計	8,510,881	8,337,848	8,054,191
負 債	固 定 負 債	180,016	136,848	167,540
	流 動 負 債	87,523	108,814	32,723
	計	267,539	245,662	200,263
資 本	資 本 金	5,944,408	5,686,297	5,468,096
	剰 余 金	2,298,934	2,405,889	2,385,832
	計	8,243,342	8,092,186	7,853,928
負債資本合計		8,510,881	8,337,848	8,054,191

資産の総額は 85 億 1,088 万 1 千円で、前年度に比べて 1 億 7,303 万 3 円 (2.1%) 増加している。固定資産の増加は、善王寺浄水場改良事業・掛津配水池改良事業・荒木野浄水場改良事業の完成に伴うものである。



流動資産である水道料金の未収金の状況は、次のとおりである。(別表9参照)

(単位:千円、件)

区 分	平成 24 年度		平成 23 年度		平成 22 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未 収 金	30,499	106,676	32,229	137,418	30,679	129,732
不 納 欠 損	3,063	33,662	31	83	1,356	10,353
債 権 放 棄	1,079	5,528	28	80	785	6,030
債 権 消 滅	1,984	28,134	3	3	571	4,323

未収金の総額は1億667万6千円で、前年度に比べて3,074万2千円減少している。これは京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、債権放棄1,079件、552万8千円と債権消滅1,984件、2,813万4千円の不納欠損行ったことによるものである。これにより、未収金のうち、過年度滞納料金分は5,446万5千円(前年度8,440万8千円)と大幅に減額となっているが、依然として多額の未収金が残っており、その回収は、利用者の負担の公平性の確保と経営の健全化を推し進める観点からも極めて重要である。

滞納整理については、前年度に引き続き滞納者に対して給水停止を実施し、積極的な徴収努力を講じた。今後も簡易水道分と合わせて、法的措置を含めた債権確保の検討や給水停止等の措置を行うなど、積極的な対応を求めるものである。

負債の総額は別表6のとおり2億6,753万9千円で、前年度に比べて2,187万8千円(8.9%)と増加している。固定負債の増加は、企業債4,050万8千円の増によるものであり、流動負債の減少は、未払金が2,789万6千円増となったが、前受金が4,911万9千円の減となったことによるものである。

資本の総額は82億4,334万2千円(別表8)で、前年度に比べて1億5,115万6千円(1.9%)増加している。資本金の増加は、自己資本金2億1,820万円(別表7)の増と企業債3,991万1千円(別表7)の増によるものである。剰余金は補償金や受贈財産評価額等が増となったが、当年度末処分利益剰余金が大きく減となり、減少となった。

負債と資本に区分される企業債の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

区 分	平成 23 年度 未残高	平成 24 年度		平成 24 年度 未残高	平成 24 年度 支払利息
		発行額	償還額		
負 債	115,674	85,700	45,192	156,182	74,650
資 本	3,247,195	218,200	178,290	3,287,105	
計	3,362,869	303,900	223,482	3,443,287	

企業債残高は34億4,328万7千円で、前年度に比べて8,041万8千円(2.4%)増

加している。当年度の企業債利息は7,465万円で、営業収益5億9,084万3千円に占める割合は12.6%となっており、前年度に比べて0.1ポイント上昇しており企業経営に大きな影響を及ぼしている。

(5) むすび

平成24年度の水道事業会計の経営成績は事業収益5億9,260万1千円に対して事業費用7億5,831万7千円で、差し引き1億6,571万円6千円で3年連続の当期純損失となっている。また、特別損失を除いた経常利益についても2年連続の赤字となった。水道事業の経営において、収益面では、給水人口の減少、給水需要の動向、気候変動による水不足等さまざまな要因により、今後の安定的な増収が見込めない状況にある。一方、費用面では老朽管布設替事業や上水道統合事業等の大規模事業に伴う経費や電気料金等の管理経費、企業債償還金等の支出の増加が見込まれ、ますます厳しい事業運営となることが予想される。また、有収率については5年連続して悪化しており、漏水等の対策を積極的に推し進める必要がある。

次に、水道料金について平成24年度末で1億667万6千円と多額の未収金をかかえており、水道事業の経営にとって憂慮すべき事態となっている。(平成25年5月末現在は6,168万4千円)

平成24年度は京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、未収金について不納欠損処理が実行され、徴収の見込めない不良債権について一定の整理ができた。今後も不良債権については同条例に基づいて整理すると共に、徴収しなければならない債権について積極的な徴収努力に努められたい。

水道事業の経営は非常に厳しい状況となっている中で、水道料金の再値上げを提案する時期が来ていると考えられるが、その前に未収金の対策、管理経費の節減等に尽力することが必要不可欠である。

京丹後市の水道事業が、今後とも経営基盤の確立や効率的な運営に一層努めるとともに、より安全で良質な水道水の安定供給を図り、水道利用者へのサービスの向上と、公共福祉の増進に寄与されることを期待するものである。

## 2 病院事業

### (1) 事業の概況

事業の概要は、別表 10 のとおりである。

一般病床と療養病床を合わせた入院患者数は、弥栄病院で延 60,626 人（1 日平均 166.1 人）、久美浜病院で延 53,146 人（同 145.6 人）となり、前年度に比べて弥栄病院は 864 人（同 1.9 人）、久美浜病院は 4,454 人（同 11.8 人）減少している。

外来患者数は、弥栄病院で延 100,686 人（1 日平均 411.0 人）、久美浜病院で延 82,303 人（同 335.9 人）となり、前年度に比べて弥栄病院は 9,868 人（同 38.8 人）増加したが、久美浜病院は 1,916 人（同 9.3 人）減少となった。

病床利用率では、弥栄病院は、前年度に比べて 1.0 ポイント下げ 83.0%に、久美浜病院も 6.9 ポイント下げ 85.7%の結果となった。

#### ア 入院患者の状況

入院患者の状況は、別表 11 及び別表 14、別表 15 のとおりである。

一般病床においては、弥栄病院では、整形外科や内科などで増加しているが、外科、リハビリ、産婦人科の患者数が減少し、延患者数は 44,152 人と、前年度より 1,004 人の減となっている。一方、久美浜病院では、小児科や歯科・歯科口腔外科などで増加しているが、整形外科や内科の患者数が大きく減少し、延患者数は 32,542 人で、前年度より 3,640 人と大きく減少した。

療養病床においては、弥栄病院では延患者数が 16,474 人で前年度より 140 人の増となったが、久美浜病院では 20,604 人で 814 人の減となった。

施設の利用状況を表す病床利用率は、別表 17 のとおりである。

弥栄病院の一般病床の利用率は 79.6%で、前年度より 1.6 ポイントの減となったが、療養病床は 94.0%で 1.0 ポイント上昇し、久美浜病院では一般病床は 81.1%で 8.8 ポイントと大きく減となり、療養病床でも 94.1%で 3.4 ポイント減となった。

#### イ 外来患者の状況

外来患者の状況は、別表 11 及び別表 16 のとおりである。

弥栄病院では、産婦人科、リハビリで患者数が減少となったが、整形外科、内科、眼科、小児科、皮膚科などの患者数が増加したため、外来の延患者数は 100,686 人と、前年度より 9,868 人の大幅増となった。

久美浜病院では、歯科・歯科口腔外科、皮膚科などで患者数が増加したが、内科、小児科、整形外科などで減となり、延患者数は 82,303 人と、前年度より 1,916 人の減となった。

なお、開院日は、両病院とも前年度より 1 日多い 245 日であった。

ウ 訪問看護事業の状況

訪問看護事業の状況は、別表 12 のとおりである。

弥栄病院では、訪問実人数は 1,263 人で前年度より 357 人の増となっているが、久美浜病院では 529 人で前年度より 185 人の減になっている。年度ごとに人数の変動はあるものの、高齢化や核家族化の進行する中、在宅医療の充実や生活の向上のために今後とも大切な事業である。

エ 通所リハビリテーション事業の状況

通所リハビリテーション事業の状況は、別表 13 のとおりである。

平成 19 年度から久美浜病院で実施されている事業であり、通所実人数は 569 人で 66 人の増となった。また、通所延人数も 4,109 人と前年度より 612 人伸びている。

(2) 予算執行状況（税込）

ア 収益的収入及び支出

収益的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

（決算書 P1, P2 及び別表 10 参照）

（単位：千円、%）

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
弥栄病院事業収益	3,685,280	3,705,585	20,305	100.6
医業収益	3,288,219	3,293,076	4,857	100.1
医業外収益	353,071	352,767	△304	99.9
訪問看護事業収益	43,990	59,742	15,752	135.8
久美浜病院事業収益	2,669,746	2,481,884	△187,862	93.0
医業収益	2,249,201	2,050,968	△198,233	91.2
医業外収益	342,795	348,283	5,488	101.6
訪問看護事業収益	44,710	38,434	△6,276	86.0
通所リハビリテーション事業収益	33,040	44,199	11,159	133.8
合 計	6,355,026	6,187,469	△167,557	97.4

収益的収入である病院事業収益は、予算額 63 億 5,502 万 6 千円に対して決算額 61 億 8,746 万 9 千円で、収入率は 97.4%となっている。

久美浜病院の医業収益では、決算額が予算額を 1 億 9,823 万 3 千円下回っている。弥栄病院では入院・外来収益とも前年度と比較して伸びているが、久美浜病院では減少となった。両病院を合計すると医業収益では、前年度に比べ 8,991 万 5 千円（弥栄病院 1 億 2,195 万 5 千円の増、久美浜病院 3,204 万円の減）増加している。内訳は入院収益では前年度と比較して 2,958 万 1 千円（弥栄病院 822 万 4 千円の増、久

美浜病院 3,780 万 5 千円の減) 減となったが、外来収益では前年度に比べ 1 億 697 万 1 千円 (弥栄病院 1 億 1,281 万 2 千円の増、久美浜病院 584 万 1 千円の減) と大きく伸びている。

収益的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(決算書 P3, P4 及び別表 10 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	不用額	執行率
弥栄病院事業費用	3,685,280	3,510,892	174,388	95.3
医業費用	3,583,566	3,422,014	161,552	95.5
医業外費用	44,738	39,444	5,294	88.2
訪問看護事業費用	49,144	47,691	1,453	97.0
特別損失	1,743	1,743	0	100.0
予備費	6,089	0	6,089	0.0
久美浜病院事業費用	2,669,746	2,457,349	212,397	92.0
医業費用	2,478,002	2,317,034	160,968	93.5
医業外費用	73,537	68,164	5,373	92.7
訪問看護事業費用	46,443	40,145	6,298	86.4
通所リハビリテーション事業費用	35,857	30,806	5,051	85.9
特別損失	1,200	1,200	0	100.0
予備費	34,707	0	34,707	0.0
合 計	6,355,026	5,968,241	386,785	93.9

収益的支出である病院事業費用は、予算額 63 億 5,502 万 6 千円に対して決算額 59 億 6,824 万 1 千円で、執行率は 93.9%となっている。不用額は総額 3 億 8,678 万 5 千円で、その大半は、医業費用における材料費、給与費及び経費などである。

#### イ 資本的収入及び支出

資本的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

(決算書 P5、P6 及び別表 20 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
弥栄病院資本的収入	450,200	450,250	0	100.0
企業債	284,200	284,200	0	100.0
他会計負担金	113,713	113,713	0	100.0
補助金	52,237	52,237	0	100.0
寄附金	50	50	0	100.0
久美浜病院資本的収入	349,393	349,393	0	100.0

企業債	192,800	192,800	0	100.0
他会計負担金	90,895	90,895	0	100.0
補助金	65,598	65,598	0	100.0
寄附金	100	100	0	100.0
合 計	799,593	799,593	0	100.0

資本的収入は、予算額 7 億 9,959 万 3 千円に対して決算額も同額で、収入率は 100.0%となっている。

資本的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(決算書 P7, P8 及び別表 20 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
弥栄病院資本的支出	647,346	640,483	0	6,863	98.9
建設改良費	206,206	199,345	0	6,861	96.7
企業債償還金	439,340	439,338	0	2	99.9
長期貸付金	1,800	1,800	0	0	100.0
久美浜病院資本的支出	465,963	455,469	0	10,494	97.7
建設改良費	276,954	266,460	0	10,494	96.2
企業債償還金	187,209	187,209	0	0	100.0
長期貸付金	1,800	1,800	0	0	100.0
合 計	1,113,309	1,095,952	0	17,357	98.4

資本的支出は、予算額 11 億 1,330 万 9 千円に対して決算額 10 億 9,595 万 2 千円で、執行率は 98.4%となっている。

主な施設設備の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
建設改良 (5百万円以上)	久美浜病院 久美浜病院院内保育所改修工事	16,005
資産購入 (10百万円以上)	弥栄病院 心臓用超音波診断装置	17,640
	弥栄病院 低温プラズマ滅菌器	13,755
	弥栄病院 顕微鏡手術統合システム	33,495
	弥栄病院 人工腎臓装置	52,290
	久美浜病院 高圧蒸気滅菌器	18,900
	久美浜病院 大動脈内バルーンポンプ	10,290
	久美浜病院 磁気共鳴断層撮影装置 (MR I)	113,610

病院経営の安定化傾向に伴って、患者ニーズに応えるべく高度な医療機器の整備に、前年度に引き続き多くの施設設備の整備を行っている。医療機器及び医療系システムに関しては4億2,803万2千円（弥栄病院1億9,594万円、久美浜病院2億3,209万2千円）の整備を行ったほか、患者搬送車、訪問看護用車両を整備し多額の支出となっているが、患者サービス向上と業務効率の向上のための積極的な投資である。なお、高額な医療機器の整備に対しては、京都府の補助金を活用するなど財源確保の努力が伺える。また、久美浜病院では昨年度設置した院内保育所の保育定員を倍増（10人⇒20人）するため施設を改修した。

患者サービス及び医療の質の向上に有益に活用されたい。

### (3) 経営成績（税抜）

損益計算書による経営成績は、次のとおりである。

（決算書P29, P47 及び別表 21 参照）

（単位：千円、%）

区 分	平成 24 年度			平成 23 年度		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
総収益 (A)	6,176,400	3,698,899	2,477,501	6,048,947	3,554,491	2,494,456
総費用 (B)	5,965,623	3,509,172	2,456,451	5,824,283	3,379,088	2,445,195
純利益	210,777	189,727	21,050	224,664	175,403	49,261
比率(A)/(B)	103.5	105.4	100.9	103.9	105.2	102.0

総収益 61 億 7,640 万円に対して総費用 59 億 6,562 万 3 千円で、差し引き 2 億 1,077 万 7 千円の純利益となっている。両病院とも 4 年連続で黒字経営となり、改革プラン終了後も引き続き数値目標の達成に、病院経営の努力が伺える。この結果、前年度繰越欠損金 39 億 6,773 万 9 千円を加えた当年度未処理欠損金（累積欠損金）は 37 億 5,696 万 2 千円に減少している。

病院別の状況について見ると、弥栄病院では、医業収益は 32 億 8,692 万 8 千円で、前年度に比べて 1 億 2,195 万 5 千円（3.9%）増加したが、医業費用も 33 億 5,503 万 7 千円と、前年度に比べて 1 億 2,709 万 2 千円（3.9%）増加し、医業損失は 6,810 万 9 千円と前年度と比べ微増となっている。また、医業外収益は 3 億 5,222 万 9 千円で、前年度より 847 万 1 千円（2.5%）増加し、医業外費用は 1 億 484 万 7 千円で、前年度とほぼ同額となっている。

この結果、弥栄病院の総収益は 36 億 9,889 万 9 千円、総費用は 35 億 917 万 2 千円で、当年度は 1 億 8,972 万 7 千円の純利益となり、当年度未処理欠損金は 15 億 4,608 万 9 千円となっている。

次に、久美浜病院では、医業収益は 20 億 4,693 万 8 千円で、前年度に比べて 3,204 万円（1.5%）の減となった。一方、医業費用は 22 億 8,085 万円と、前年度に比べて 1,443 万 8 千円（0.6%）と微増しており、医業損失は 2 億 3,391 万 2 千円に増加して

いる。また、医業外収益は3億4,793万円で、前年度より1,503万4千円(4.5%)増加し、医業外費用は1億377万4千円で、前年度と比較して478万9千円減少している。

この結果、久美浜病院の総収益は24億7,750万1千円、総費用は24億5,645万1千円で、当年度は2,105万円の純利益となり、当年度未処理欠損金は22億1,087万3千円となっている。

医業における経営状態を示す比率は、次のとおりである。(別表19参照)

(単位：%)

区 分	平成24年度			平成23年度		
		弥栄病院	久美浜病院		弥栄病院	久美浜病院
経常収支比率	103.6	105.5	100.9	103.9	105.3	102.0
医業収益対医業費用比率	95.2	98.4	90.6	95.8	98.1	92.5

経常収支比率は、収益と費用を対比して経営活動の成果を表わすものであり、比率が大きいほど良好であるが、前年度に比べて0.3ポイント(弥栄病院0.2ポイントの増、久美浜病院1.1ポイントの減)下がった。

医業収益対医業費用比率は、医業費用に対する医業収益の比率を表わすものであり、100%未満は医業収支が赤字であることになる。前年度に比べて両病院合計で0.6ポイント(弥栄病院0.3ポイントの増、久美浜病院1.9ポイントの減)下がった。両病院の経営状態は、弥栄病院は改善しているが久美浜病院は悪くなっている結果となった。

#### (4) 財政状態(税抜)

貸借対照表による財政状態は、次のとおりである。(別表22～24参照)

(単位：千円)

区 分	平成24年度			平成23年度			
		弥栄病院	久美浜病院		弥栄病院	久美浜病院	
資 産	固定資産	5,360,513	2,845,033	2,515,480	5,169,021	2,811,492	2,357,529
	流動資産	1,380,108	778,996	601,112	1,332,963	705,385	627,578
	繰延勘定	71,627	23,579	48,048	62,203	19,415	42,788
	計	6,812,248	3,647,608	3,164,640	6,564,187	3,536,292	3,027,895
負 債	固定負債	518,765	319,190	199,575	657,165	424,108	233,057
	流動負債	680,871	402,130	278,741	854,752	491,404	363,348
	計	1,199,636	721,320	478,316	1,511,917	915,512	596,405
資 本	資本金	4,203,306	1,966,425	2,236,881	4,199,853	2,016,645	2,183,208
	剰余金	1,409,306	959,863	449,443	852,417	604,135	248,282
	計	5,612,612	2,926,288	2,686,324	5,052,270	2,620,780	2,431,490
負債資本合計	6,812,248	3,647,608	3,164,640	6,564,187	3,536,292	3,027,895	



資産の総額は68億1,224万8千円で、前年度に比べて2億4,806万1千円(3.8%)増加している。固定資産の増加は、主に機器及び備品2億662万2千円の増によるものである。流動資産の増加は、現金預金が6,976万6千円減になったが、未収金が1億1,931万7千円増になったことによるものである。

流動資産である個人が窓口で支払うべき診療費の未収金の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	平成24年度			平成23年度		
		弥栄病院	久美浜病院		弥栄病院	久美浜病院
未 収 金	70,103	48,348	21,755	69,872	51,032	18,840
不納欠損	543	543	0	2,882	2,786	96

未収金の総額は7,010万3千円で、前年度に比べて23万1千円(弥栄病院は268万4千円の減、久美浜病院は291万5千円の増)増加している。弥栄病院では、自己破産等による回収不能な未収金54万3千円の債権放棄を行っている。経営の健全化を推し進める観点からも、診療費の滞納整理については引き続き積極的な対応を求めるものである。

負債の総額は11億9,963万6千円で、前年度に比べて3億1,228万1千円(20.7%)減少している。固定負債の減少は、企業債1億3,840万円の減によるものであり、流動負債の減少は、一時借入金2億2,000万円の減等によるものである。

資本の総額は56億1,261万2千円で、前年度に比べて5億6,034万1千円(11.1%)増加している。資本金の増加は、企業債の増によるものであり、剰余金の増加(赤字額の減少)は、主に一般会計からの繰入金2億460万7千円の増と純利益2億1,077万7千円の増によるものである。

負債と資本に区分される企業債の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	平成23年度 末残高	平成24年度		平成24年度 末残高	平成24年度 支払利息
		発行額	償還額		
弥栄病院	2,012,800	284,200	439,338	1,857,662	34,279
負債	424,108	0	104,918	319,190	
資本	1,588,692	284,200	334,420	1,538,472	
久美浜病院	2,347,464	207,400	187,208	2,367,656	61,085
負債	233,056	14,600	48,081	199,575	
資本	2,114,408	192,800	139,127	2,168,081	
合 計	4,360,264	491,600	626,546	4,225,318	95,364
負債	657,165	14,600	152,999	518,765	
資本	3,703,100	477,000	473,547	3,706,553	

企業債残高は、42億2,531万8千円で、前年度に比べて1億3,494万7千円(3.1%)減少している。医療機器購入のために両病院で4億9,160万円を借り入れているが、償還額がそれを上回ったことによるものである。

病院別の状況について見ると、弥栄病院では、企業債残高は18億5,766万2千円で、前年度に比べて1億5,513万8千円(7.7%)減少している。当年度の企業債利息は3,427万9千円で、医業収益32億8,692万8千円に占める割合は1.0%(前年度1.2%)と減少している。

次に、久美浜病院では、企業債残高は23億6,765万6千円で、前年度に比べて2,019万2千円(0.9%)増加しているが、これは医療機器購入等のため新たに2億740万円の借り入れをしたことによるものである。当年度の企業債利息は6,108万5千円で、医業収益20億4,693万8千円に占める割合は3.0%(前年度3.1%)と減少している。

#### (5) むすび

平成24年度は、昨年度終了した市立病院改革プランの指標である「経常収支比率」「職員給与費比率」「病床利用率」の3つの経営数値を引き続き目標として経営改善に取り組まれた一年であり、両病院の懸命の努力により、おおむね数値目標を達成することが出来たが、久美浜病院の病床利用率については達成することが困難であった。また、両病院の医療体制について、久美浜病院の外科医師が欠員となった一方、同病院で麻酔科医師、弥栄病院で産婦人科医師をそれぞれ1名増員することができた。医師負担の軽減要因として、共に研修指定病院である京都市内の3病院より28名の研修医を受け入れ、医療体制の充実を図ることができた。このことは、市民の健康と命を守るため両病院が日々努力を積み重ねた賜と評価する。

経常収支については、4年連続で黒字となり良好な決算であったが、医業収益の内訳を見てみると、外来収益は前年度に比べて1億697万1千円の増であったが、入院収益については2,958万1千円の減となっている。収益のアップには常勤医師の拡充が必要不可欠であり、医師の招へいの取り組みに重点を置く必要がある。合併以来、市を挙げてさまざまな方法により努力されているところであるが、看護師や医療技術者も合わせて、引き続き更なる努力を願いたい。

経営に関しては黒字体質に転換しているが、平成20年度に多額の不良債権を長期債務に振り替えた公立病院特例債の未償還残高は4億6,546万5千円(弥栄病院3億1,919万円、久美浜病院1億4,627万5千円)で、平成27年度まで償還が続くことや、多様化する医療や患者のニーズ応えるため、新たな設備等への投資が欠かせないため、一般会計からの繰出金は継続する必要がある。

また、診療費の未収金について、両病院で7,010万3千円と前年度に比べて23万1千円の微増であった。現年度分の未収金が発生しないように窓口での個別指導や退院時預り金の導入、過年度分の未納分についても個別に督促等を実施され未収金の減額に取り組まれている。負担の公平性の観点からも、関係部局と連携した計画的な取り

組みを強化し、未収金発生の防止と解消に向け、引き続き努力されたい。

次に、病院環境の改善について病気やケガで不安を抱えて来院される方に対して、不安が解消でき安心して気持ち良く治療に専念できる病院を目指し、職員の接遇の向上、多様化する医療ニーズへの対応が求められており、地域に密着した医療の質の向上に職員挙げて取り組む必要がある。

市立病院改革プランが終了した今こそ、病院環境の改善を視野に入れ長期的展望に立った施設整備の新しい「市立病院経営プラン」を策定する時である。同時に、経営計画についても、地域医療、救急医療、在宅医療、訪問看護、リハビリ等公的病院の役割を加味し、持続可能な計画を合わせて策定する必要がある。

今後とも、病院事業の全部門、全職員が経営感覚を常に念頭に置き、院内あげて患者サービスの向上と経費節減に努め、市民の命と健康を守るため、地域に密着した心のこもった良心的で確かな医療サービスの提供に総力を挙げて取り組み、公共福祉の増進に寄与されることを望むものである。

## 水道事業会計 決算審査資料

別表 1	水道事業の概要
別表 2	資本的収支
別表 3	損益計算書
別表 4	経営の安定度に関する指標
別表 5	資産
別表 6	負債
別表 7	資本金
別表 8	剰余金
別表 9	未収金及び不納欠損額

## 病院事業会計 決算審査資料

別表10	病院事業の概要
別表11	入院患者・外来患者の状況
別表12	訪問看護の状況
別表13	通所リハビリテーションの状況
別表14	診療科目別入院患者の状況（一般病床）
別表15	診療科目別入院患者の状況（療養病床）
別表16	診療科目別外来患者の状況
別表17	病床利用率
別表18	患者1人1日当たり診療収入
別表19	収支比率
別表20	資本的収支
別表21	比較損益計算書
別表22	資産
別表23	負債
別表24	資本金
別表25	剰余金

(注) 表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入しているため、  
合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表 1 水道事業の概要

	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	対前年比	
			増減(C) (A-B)	比率(C/B*100)
給水件数(件)	13,331	13,309	22	0.2%
給水人口(人)	31,398	31,649	△251	△0.8%
配水量				
年間総配水量(m <sup>3</sup> )	4,371,726	4,344,803	26,923	0.6%
一日最大配水量(m <sup>3</sup> )	14,374	14,698	△324	△2.2%
一日最小配水量(m <sup>3</sup> )	10,467	10,034	433	4.3%
一日平均配水量(m <sup>3</sup> )	11,977	11,871	106	0.9%
有収水量				
年間総有収水量(m <sup>3</sup> )	3,385,708	3,427,308	△41,600	△1.2%
有効率(%)	79.33	81.05	△1.72	△2.1%
有収率(%)	77.45	78.88	△1.43	△1.8%
給水原価	188円02銭	181円99銭	6円03銭	3.3%
供給単価	171円97銭	171円90銭	7銭	0.0%
資本費	103円47銭	101円92銭	1円55銭	1.5%

- ・給水人口 定住人口による集計
- ・有効率  $\text{年間総有効水量} / \text{年間総配水量} \times 100$   
浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、一般世帯などで有効に使用された水量（漏水量を除いた水量）の割合を示す指標
- ・有効水量 有収水量＋無収水量（メーター不感知分、消火栓使用分、管洗浄分等）
- ・有収率  $\text{年間総有収水量} / \text{年間総配水量} \times 100$   
浄水場から送られた水がどれだけ料金徴収の基礎となったかを示す指標。数値が高いほど施設効率が良いことを示し、低い場合は漏水、メーターの不感、公共用水、消防用水等いくつかの要因が考えられる。
- ・給水原価  $(\text{経常費用} - \text{受託工事費}) / \text{年間総有収水量}$   
有収水量1m<sup>3</sup>作るために、どれだけの費用がかかっているかを示す指標。
- ・供給単価  $\text{給水収益} / \text{年間総有収水量}$   
有収水量1m<sup>3</sup>当たりについて、どれだけの収益を得ているかを示す指標。
- ・資本費  $(\text{支払利息} + \text{減価償却費}) / \text{年間総有収水量}$

別表2 水道事業資本の収支（税込）

（単位：千円、％）

		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	対前年比		
				金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)	
資本の収入	加入金	5,895	5,471	424	7.7	
	工事分担金	0	0	0	0.0	
	企業債	303,900	150,100	153,800	102.5	
	負担金	0	0	0	0.0	
	補助金	0	0	0	0.0	
	出資金	218,200	150,100	68,100	45.4	
	補償金	49,120	7,109	42,011	591.0	
	小計	577,115	312,780	264,335	84.5	
	補填財源	消費税及び地方消費税 資本の収支調整額	18,758	16,908	1,850	10.9
		繰越工事資金	49,120	0	49,120	皆増
		損益勘定留保金	142,879	162,446	△ 19,567	△ 12.0
		減債積立金	0	0	0	0.0
		繰越利益剰余金	0	0	0	0.0
小計		210,757	179,354	31,403	17.5	
合計	787,872	492,134	295,738	60.1		
資本の支出	建設改良費	564,390	364,943	199,447	54.7	
	企業債償還金	223,482	127,191	96,291	75.7	
	合計	787,872	492,134	295,738	60.1	

### 別表3 水道事業損益計算書（税抜）

（単位：千円、％）

	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	対前年比	
			金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
<b>水道事業収益 (ア)</b>	<b>592,601</b>	<b>600,216</b>	<b>△ 7,615</b>	<b>△ 1.3</b>
営業収益	590,843	597,631	△ 6,788	△ 1.1
給水収益	582,243	589,152	△ 6,909	△ 1.2
その他の営業収益	8,600	8,479	121	1.4
営業外収益	1,758	2,585	△ 827	△ 32.0
受取利息及び配当金	215	196	19	9.7
他会計補助金	840	1,128	△ 288	△ 25.5
雑収益	703	1,261	△ 558	△ 44.3
<b>水道事業費用 (イ)</b>	<b>758,317</b>	<b>625,226</b>	<b>133,091</b>	<b>21.3</b>
営業費用	561,202	548,832	12,370	2.3
原水及び浄水費	172,357	158,069	14,288	9.0
配水及び給水費	43,114	44,473	△ 1,359	△ 3.1
業務費	26,610	0	26,610	皆増
総係費	32,959	60,320	△ 27,361	△ 45.4
減価償却費	275,677	274,606	1,071	0.4
資産減耗費	10,485	11,364	△ 879	△ 7.7
その他営業費用	0	0	0	0.0
営業外費用	75,367	74,911	456	0.6
支払利息	74,650	74,713	△ 63	△ 0.1
雑支出	717	198	519	262.1
特別損失	121,748	1,483	120,265	8,109.6
過年度損益修正損	32,115	0	32,115	皆増
資産減耗費	89,633	0	89,633	皆増
その他特別損失	0	1,483	△ 1,483	皆減
<b>当年度純利益 (ア)-(イ)</b>	<b>△ 165,716</b>	<b>△ 25,010</b>	<b>△ 140,706</b>	<b>562.6</b>

別表 4 水道事業経営の安定度に関する指標

	平成24年度 (%)	平成23年度 (%)	平成22年度 (%)	平成23年度 類似団体 全国平均値 (%)	備 考
総収支比率	78.1	96.0	93.4	105.1	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ <p>経営収支の均衡度を総収益対費用の関係で見る指標。高い数値の方が好ましい。この率が100%未満であれば、純損失を生じている。</p>
経常収支比率	93.1	96.2	110.8	105.3	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$ <p>特別損益を除いた経常的な収支の関係を見る指標。高い数値の方が好ましい。100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満は単年度赤字を表す。</p>
営業収支比率	105.3	108.9	126.2	114.6	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事費収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$ <p>通常の営業活動に要する費用を、営業活動に必要なものとして徴収している給水収益等の営業収益で、どの程度賅っているかを示す指標。高い数値の方が好ましい。100%未満の場合は健全経営とはいえない。</p>



別表5 水道事業資産

(単位：千円、%)

		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	対前年比	
				金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定資産	土地	363,111	363,174	△ 63	△ 0.0
	建物	260,792	220,724	40,068	18.2
	構築物	4,295,313	4,147,257	148,056	3.6
	機械及び装置	2,401,224	2,231,375	169,849	7.6
	車両運搬具	12,748	4,203	8,545	203.3
	工具器具及び備品	37,748	40,845	△ 3,097	△ 7.6
	建設仮勘定	0	195,275	△ 195,275	皆減
	小計	7,370,936	7,202,853	168,083	2.3
流動資産	現金預金	1,017,384	968,288	49,096	5.1
	未収金	115,165	137,882	△ 22,717	△ 16.5
	貯蔵品	6,646	6,345	301	4.7
	前払金	750	22,480	△ 21,730	△ 96.7
	その他流動資産	0	0	0	0.0
	小計	1,139,945	1,134,995	4,950	0.4
合計		8,510,881	8,337,848	173,033	2.1

別表6 水道事業負債

(単位：千円、%)

		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	対前年比	
				金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定負債	企業債	156,182	115,674	40,508	35.0
	引当金	23,834	21,174	2,660	12.6
	その他固定負債	0	0	0	0.0
	小計	180,016	136,848	43,168	31.5
流動負債	未払金	86,522	58,626	27,896	47.6
	前受金	1	49,120	△ 49,119	△ 100.0
	その他流動負債	1,000	1,067	△ 67	△ 6.3
	小計	87,523	108,813	△ 21,290	△ 19.6
合計 (ア)		267,539	245,661	21,878	8.9

別表7 水道事業資本金

(単位：千円、%)

		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	対前年比	
				金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
自己資本金	自己資本金	2,657,302	2,439,102	218,200	8.9
借入資本金	企業債	3,287,106	3,247,195	39,911	1.2
合計 (イ)		5,944,408	5,686,297	258,111	4.5

別表8 水道事業剰余金

(単位：千円、%)

		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	対前年比	
				金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
資本剰余金	再評価積立金	1,972	1,972	0	0.0
	加入金	339,438	333,824	5,614	1.7
	工事負担金	124,431	124,430	1	0.0
	受贈財産評価額	355,889	349,526	6,363	1.8
	補償金	387,237	340,453	46,784	13.7
	補助金	560,142	560,142	0	0.0
	寄付金	3,243	3,243	0	0.0
	小計	1,772,352	1,713,590	58,762	3.4
利益剰余金	減債積立金	3,600	3,600	0	0.0
	建設改良積立金	127,328	127,329	△1	0.0
	当年度未処分利益剰余金	395,654	561,370	△165,716	△29.5
	(うち当年度純利益)	(△165,716)	(△25,011)		
	小計	526,582	692,299	△165,717	△23.9
合計 (ウ)		2,298,934	2,405,889	△106,955	△4.4

資本合計 (イ)+(ウ)	8,243,342	8,092,186	151,156	1.9
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	8,510,881	8,337,847	173,034	2.1

## 別表 9 水道事業会計 未収金及び不納欠損額

平成25年3月31日現在

(単位：円、件)

	未 収 金				不 納 欠 損			
	平成24年度		平成23年度		平成24年度		平成23年度	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数
平成24年度	52,210,950	15,517			18,150	4		
平成23年度	6,058,572	1,960	53,010,110	15,384	81,000	31		
平成22年度	7,808,440	2,253	8,971,590	2,590	305,850	76	19,380	9
平成21年度	6,785,680	1,986	8,290,240	2,284	1,025,210	111	5,960	3
平成20年度	4,974,630	1,461	7,015,190	1,706	1,632,700	109	22,490	7
平成19年度	3,785,250	1,064	6,073,590	1,191	2,160,300	88	26,790	9
平成18年度	2,894,150	934	6,072,380	1,063	3,056,340	93	8,290	3
平成17年度	2,090,740	599	3,708,330	708	1,554,360	78		
平成16年度	1,748,950	474	2,495,840	614	636,100	91		
平成15年度	3,006,906	740	4,402,691	937	1,291,025	168		
平成14年度	2,770,425	645	6,543,180	922	3,656,545	258		
平成13年度	1,838,525	555	4,889,300	841	3,033,895	284		
平成12年度	1,548,185	393	3,412,740	638	1,864,555	245		
平成11年度	1,692,630	441	5,610,855	683	3,916,045	241		
平成10年度	1,763,010	408	5,614,520	725	3,831,735	313		
平成9年度	1,272,655	301	3,946,855	590	2,664,200	288		
平成8年度	1,398,115	240	2,551,725	467	1,153,610	227		
平成7年度	1,339,880	208	2,395,590	364	1,055,710	156		
平成6年度	808,465	180	1,239,645	303	431,180	123		
平成5年度	879,365	140	1,173,185	219	293,820	79		
合 計	106,675,523	30,499	137,417,556	32,229	33,662,330	3,063	82,910	31

別表 10

## 病院事業の概要（税抜）

項 目		単位	弥 栄 病 院			久 美 浜 病 院				
			平成24年度	平成23年度	対前年比 (H24-H23)	平成24年度	平成23年度	対前年比 (H24-H23)		
医	病床数	床	200	200	0	170	170	0		
		年間延	床	73,000	73,200	△ 200	62,050	62,220	△ 170	
	患者数	入 院	年間延	人	60,626	61,490	△ 864	53,146	57,600	△ 4,454
			1日平均	人	166.1	168.0	△ 1.9	145.6	157.4	△ 11.8
		外 来	年間延	人	100,686	90,818	9,868	82,303	84,219	△ 1,916
			1日平均	人	411.0	372.2	38.8	335.9	345.2	△ 9.3
	病床利用率		%	83.0	84.0	△ 1.0	85.7	92.6	△ 6.9	
	医業費用		千円	3,355,037	3,227,945	127,092	2,280,850	2,266,412	14,438	
	医業収益		千円	3,286,928	3,164,973	121,955	2,046,938	2,078,978	△ 32,040	
	業	入 院	総 額	千円	1,739,928	1,731,704	8,224	1,346,106	1,383,911	△ 37,805
1人1日 平均			円	28,699	28,162	537	25,328	24,026	1,302	
外 来		総 額	千円	1,406,929	1,294,117	112,812	629,128	634,969	△ 5,841	
		1人1日 平均	円	13,973	14,250	△ 277	7,644	7,540	104	
訪問看護 事業	訪問実人数		人	1,263	906	357	529	714	△ 185	
	訪問延人数		人	6,072	4,838	1,234	3,070	4,263	△ 1,193	
	1日平均 訪問患者数		人	24.8	19.8	5.0	12.5	17.5	△ 5.0	
通所リハ ビリテー ション事 業	通所実人数		人				569	503	66	
	通所延人数		人				4,109	3,497	612	
	1日平均 通所患者数		人				16.8	14.3	2.5	
職 員 数 (年度末 現在)	医 師		人	9	10	△ 1	14	14	0	
	看護師 (含、助産師)		人	120	118	2	92	89	3	
	そ の 他		人	49	49	0	31	30	1	
	計		人	178	177	1	137	133	4	

別表 11 入院患者・外来患者の状況

(単位：人、%)

区 分		年 度	平成24年度		平成23年度		比較 (H24/H23)	
			延患者数 (A)	1日平均患者数	延患者数 (B)	1日平均患者数	増減 (C) = (A-B)	比率 (C)/(B) ×100
入 院	一般病床 (262床) 合 計		76,694	210.2	81,338	222.3	△ 4,644	△ 5.7
	弥栄病院 (152床)		44,152	121.0	45,156	123.4	△ 1,004	△ 2.2
	久美浜病院 (110床)		32,542	89.2	36,182	98.9	△ 3,640	△ 10.1
	療養病床 (108床) 合 計		37,078	101.5	37,752	103.1	△ 674	△ 1.8
	弥栄病院 (48床)		16,474	45.1	16,334	44.6	140	0.9
	久美浜病院 (60床)		20,604	56.4	21,418	58.5	△ 814	△ 3.8
外 来	合 計		182,989	746.9	175,037	717.4	7,952	4.5
	弥栄病院 (開院日245日)		100,686	411.0	90,818	372.2	9,868	10.9
	久美浜病院 (開院日245日)		82,303	335.9	84,219	345.2	△ 1,916	△ 2.3

※ 平成23年度の外来開院日は、弥栄病院244日、久美浜病院244日です。

別表 12 訪問看護の状況

(単位：人、%)

区 分		年 度	平成24年度			平成23年度			比較 (H24/H23)	
			訪 問 実 人 数	訪 問 延 人 数 (A)	1日平均 訪 問 患 者 数	訪 問 実 人 数	訪 問 延 人 数 (B)	1日平均 訪 問 患 者 数	増減 (C) = (A-B)	比率 (C)/(B) ×100
合 計			1,792	9,142	37.3	1,620	9,101	37.3	41	0.5
弥栄病院			1,263	6,072	24.8	906	4,838	19.8	1,234	25.5
久美浜病院			529	3,070	12.5	714	4,263	17.5	△ 1,193	△ 28.0

別表 13 通所リハビリテーションの状況

(単位：人、%)

区 分		年 度	平成24年度			平成23年度			比較 (H24/H23)	
			通 所 実 人 数	通 所 延 人 数 (A)	1日平均 通 所 患 者 数	通 所 実 人 数	通 所 延 人 数 (B)	1日平均 通 所 患 者 数	増減 (C) = (A-B)	比率 (C)/(B) ×100
合 計			569	4,109	16.8	503	3,497	14.3	612	17.5
弥栄病院										
久美浜病院			569	4,109	16.8	503	3,497	14.3	612	17.5

別表 14 診療科目別入院患者の状況（一般病床）

診療科		平成24年度			平成23年度			対前年比 (H24-H23)	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥栄 病院 152床	内科	21,693	59.4	49.1	21,413	58.5	47.4	280	0.9
	外科	2,327	6.4	5.3	3,365	9.2	7.5	△ 1,038	△ 2.8
	整形外科	13,582	37.2	30.8	12,601	34.5	27.9	981	2.7
	産婦人科	5,455	14.9	12.4	5,830	15.9	12.9	△ 375	△ 1.0
	小児科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼科	1,054	2.9	2.4	1,070	2.9	2.4	△ 16	0.0
	泌尿器科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	人工透析	22	0.1	0.0	0	0.0	0.0	22	0.1
	リハビリ	19	0.1	0.0	877	2.4	1.9	△ 858	△ 2.3
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	総合診療科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
小計	44,152	121.0	100.0	45,156	123.4	100.0	△ 1,004	△ 2.4	
久美浜 病院 110床	内科	19,456	53.3	59.8	21,122	57.7	58.4	△ 1,666	△ 4.4
	外科	2,454	6.8	7.5	2,502	6.8	6.9	△ 48	0.0
	整形外科	3,805	10.4	11.7	6,382	17.5	17.7	△ 2,577	△ 7.1
	小児科	2,981	8.2	9.2	2,467	6.8	6.8	514	1.4
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼科	43	0.1	0.1	8	0.0	0.0	35	0.1
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	839	2.3	2.6	947	2.6	2.6	△ 108	△ 0.3
	歯科・歯科 口腔外科	2,964	8.1	9.1	2,754	7.5	7.6	210	0.6
	心療内科・ 精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
小計	32,542	89.2	100.0	36,182	98.9	100.0	△ 3,640	△ 9.7	
合計	76,694	210.2		81,338	222.3		△ 4,644	△ 12.1	

別表 15 診療科目別入院患者の状況（療養病床）

診療科		平成24年度			平成23年度			対前年比 (H24-H23)	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥栄 病院  48床	内科	16,474	45.1	100.0	16,334	44.6	100.0	140	0.5
	外科								
	整形外科								
	産婦人科								
	小児科								
	耳鼻咽喉科								
	眼科								
	泌尿器科								
	人工透析								
	リハビリ								
	皮膚科								
	総合診療科								
	小計	16,474	45.1	100.0	16,334	44.6	100.0	140	0.5
久美浜 病院  60床	内科	16,720	45.8	81.1	17,336	47.4	80.9	△ 616	△ 1.6
	外科	0	0.0	0.0	1,390	3.8	6.5	△ 1,390	△ 3.8
	整形外科	20	0.0	0.1	389	1.1	1.8	△ 369	△ 1.1
	小児科								
	皮膚科								
	眼科								
	耳鼻咽喉科								
	泌尿器科	3,864	10.6	18.8	2,303	6.2	10.8	1,561	4.4
	歯科・歯科 口腔外科								
	心療内科・ 精神科								
	小計	20,604	56.4	100.0	21,418	58.5	100.0	△ 814	△ 2.1
合計	37,078	101.5		37,752	103.1		△ 674	△ 1.6	

別表 16 診療科目別外来患者の状況

診療科		平成24年度			平成23年度			対前年比 (H24-H23)	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥 栄 病 院	内科	23,336	95.3	23.2	21,810	89.4	24.0	1,526	5.9
	外科	3,362	13.7	3.3	3,101	12.7	3.4	261	1.0
	整形外科	18,371	75.0	18.2	12,458	51.1	13.7	5,913	23.9
	産婦人科	12,691	51.8	12.6	13,231	54.2	14.6	△ 540	△ 2.4
	小児科	2,831	11.6	2.8	2,068	8.5	2.3	763	3.1
	耳鼻咽喉科	2,073	8.5	2.1	1,809	7.4	2.0	264	1.1
	眼科	15,398	62.8	15.3	14,088	57.7	15.5	1,310	5.1
	泌尿器科	1,378	5.6	1.4	1,309	5.4	1.4	69	0.2
	人工透析	11,221	45.8	11.1	11,179	45.8	12.3	42	0.0
	リハビリ	2,300	9.4	2.3	2,535	10.4	2.8	△ 235	△ 1.0
	皮膚科	3,681	15.0	3.7	3,241	13.3	3.6	440	1.7
	総合診療科	4,044	16.5	4.0	3,989	16.3	4.4	55	0.2
小計	100,686	411.0	100.0	90,818	372.2	100.0	9,868	38.8	
久 美 浜 病 院	内科	30,577	124.8	37.2	31,754	130.2	37.7	△ 1,177	△ 5.4
	外科	4,117	16.8	5.0	4,250	17.4	5.0	△ 133	△ 0.6
	整形外科	9,658	39.4	11.7	10,320	42.3	12.3	△ 662	△ 2.9
	小児科	11,514	47.0	14.0	12,278	50.3	14.6	△ 764	△ 3.3
	皮膚科	1,575	6.4	1.9	1,375	5.6	1.6	200	0.8
	眼科	2,840	11.6	3.4	3,059	12.6	3.6	△ 219	△ 1.0
	耳鼻咽喉科	1,657	6.8	2.0	1,514	6.2	1.8	143	0.6
	泌尿器科	2,769	11.3	3.4	2,852	11.7	3.4	△ 83	△ 0.4
	歯科・歯科 口腔外科	17,384	70.9	21.1	16,571	67.9	19.7	813	3.0
	心療内科・ 精神科	212	0.9	0.3	246	1.0	0.3	△ 34	△ 0.1
小計	82,303	335.9	100.0	84,219	345.2	100.0	△ 1,916	△ 9.3	
合計	182,989	746.9		175,037	717.4		7,952	29.5	



別表 17 病床利用率

(単位：%)

区分	算出方法		平成24年度	平成23年度	対前年比 (H24-H23)
一般病床	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合計	80.2	84.8	△ 4.6
		弥栄病院	79.6	81.2	△ 1.6
		久美浜病院	81.1	89.9	△ 8.8
療養病床	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合計	94.1	95.5	△ 1.4
		弥栄病院	94.0	93.0	1.0
		久美浜病院	94.1	97.5	△ 3.4

別表 18 患者1人1日当たり診療収入

(単位：円)

区分	算出方法		平成24年度	平成23年度	対前年比 (H24-H23)
入院診療収入 (一般病床)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	合計	32,483	30,881	1,602
		弥栄病院	32,561	31,849	712
		久美浜病院	32,377	29,673	2,704
入院診療収入 (療養病床)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	合計	16,042	15,994	48
		弥栄病院	18,350	17,970	380
		久美浜病院	14,196	14,487	△ 291
外来診療収入	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	合計	11,127	11,021	106
		弥栄病院	13,973	14,250	△ 277
		久美浜病院	7,644	7,539	105
訪問看護収入	$\frac{\text{訪問看護事業収益}}{\text{年延訪問看護患者数}}$	合計	10,739	9,807	932
		弥栄病院	9,839	9,458	381
		久美浜病院	12,519	10,202	2,317
通所リハビリ収入	$\frac{\text{通所リハビリ事業収益}}{\text{年延通所患者数}}$	合計	10,757	11,179	△ 422
		弥栄病院			
		久美浜病院	10,757	11,179	△ 422

別表 19 病院事業収支比率

(単位：%)

区分	算出方法		平成24年度	平成23年度	対前年比 (H24-H23)
経常収支比率 (%)	$\frac{\text{医業収益+医業外収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+医業外費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合計	103.6	103.9	△ 0.3
		弥栄病院	105.5	105.3	0.2
		久美浜病院	100.9	102.0	△ 1.1
医業収益対医業 費用比率 (%)	$\frac{\text{医業収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合計	95.2	95.8	△ 0.6
		弥栄病院	98.4	98.1	0.3
		久美浜病院	90.6	92.5	△ 1.9

別表 20

## 病院事業資本の収支（税込）

（単位：千円）

		平成24年度			平成23年度			
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
資本 的 収 入	企業債	477,000	284,200	192,800	188,100	45,300	142,800	
	他会計負担金	204,608	113,713	90,895	213,950	128,950	85,000	
	補助金	117,835	52,237	65,598	16,125	10,500	5,625	
	投資償還収入	0	0	0	1,200	600	600	
	寄附金	150	50	100	0	0	0	
	小計	799,593	450,200	349,393	419,375	185,350	234,025	
	補 填 財 源	繰越工事資金	0	0	0	11,000	11,000	0
		減債積立金	0	0	0	0	0	0
		建設改良積立金	0	0	0	0	0	0
		過年度分損益勘定	296,359	190,283	106,076	209,295	112,559	96,736
		当年度損益勘定	0	0	0	103,938	103,938	0
小計		296,359	190,283	106,076	324,233	227,497	96,736	
合計	1,095,952	640,483	455,469	743,608	412,847	330,761		
資本 的 支 出	建設改良費	465,805	199,345	266,460	290,742	138,450	152,292	
	企業債償還金	626,547	439,338	187,209	447,467	271,698	175,769	
	長期貸付金	3,600	1,800	1,800	5,400	2,700	2,700	
	合計	1,095,952	640,483	455,469	743,609	412,848	330,761	

## 別表 21

## 病院事業比較損益計算書

(単位：千円)

区 分	平成24年度			平成23年度			対前年比(H24-H23)			対前年度比 計 (%) H24/H23 *100-100
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業収益(ア)	6,176,400	3,698,899	2,477,501	6,048,947	3,554,491	2,494,456	127,453	144,408	△ 16,955	2.1
医業収益	5,333,866	3,286,928	2,046,938	5,243,951	3,164,973	2,078,978	89,915	121,955	△ 32,040	1.7
入院収益	3,086,034	1,739,928	1,346,106	3,115,615	1,731,704	1,383,911	△ 29,581	8,224	△ 37,805	△ 0.9
外来収益	2,036,057	1,406,929	629,128	1,929,086	1,294,117	634,969	106,971	112,812	△ 5,841	5.5
その他の医業収益	211,775	140,071	71,704	199,250	139,152	60,098	12,525	919	11,606	6.3
医業外収益	700,159	352,229	347,930	676,654	343,758	332,896	23,505	8,471	15,034	3.5
受取利息配当金	85	42	43	95	50	45	△ 10	△ 8	△ 2	△ 10.5
他会計補助金	4,061	2,785	1,276	5,120	3,510	1,610	△ 1,059	△ 725	△ 334	△ 20.7
補助金	35,200	18,575	16,625	42,513	25,938	16,575	△ 7,313	△ 7,363	50	△ 17.2
負担金交付金	641,492	318,846	322,646	610,654	301,185	309,469	30,838	17,661	13,177	5.0
負担金補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
患者外給食収益	634	634	0	808	808	0	△ 174	△ 174	0	△ 21.5
その他医業外収益	18,687	11,347	7,340	17,464	12,267	5,197	1,223	△ 920	2,143	7.0
訪問看護事業収益	98,176	59,742	38,434	89,251	45,760	43,491	8,925	13,982	△ 5,057	10.0
訪問看護療養費収益	92,977	56,885	36,092	83,773	43,272	40,501	9,204	13,613	△ 4,409	11.0
利用料収益	5,069	2,856	2,213	5,135	2,488	2,647	△ 66	368	△ 434	△ 1.3
その他事業収益	130	1	129	343	0	343	△ 213	1	△ 214	△ 62.1
通所リハビリテーション事業収益	44,199	0	44,199	39,091	0	39,091	5,108	0	5,108	13.1
通所リハビリテーション療養費収益	37,680	0	37,680	33,022	0	33,022	4,658	0	4,658	14.1
利用料収益	6,519	0	6,519	6,069	0	6,069	450	0	450	7.4
その他事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
過年度損益修正益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
病院事業費用(イ)	5,965,623	3,509,172	2,456,451	5,824,283	3,379,088	2,445,195	141,340	130,084	11,256	2.4
医業費用	5,635,887	3,355,037	2,280,850	5,494,357	3,227,945	2,266,412	141,530	127,092	14,438	2.6
給与費	3,243,462	1,827,077	1,416,385	3,197,947	1,794,159	1,403,788	45,515	32,918	12,597	1.4
材料費	1,288,913	959,961	328,952	1,241,979	886,577	355,402	46,934	73,384	△ 26,450	3.8
経 費	803,315	401,434	401,881	791,407	399,872	391,535	11,908	1,562	10,346	1.5
減価償却費	265,249	150,810	114,439	237,500	135,987	101,513	27,749	14,823	12,926	11.7
資産減耗費	11,603	6,103	5,500	3,022	961	2,061	8,581	5,142	3,439	284.0
研究研修費	23,345	9,652	13,693	22,502	10,389	12,113	843	△ 737	1,580	3.7
医業外費用	208,621	104,847	103,774	212,512	103,949	108,563	△ 3,891	898	△ 4,789	△ 1.8
支払利息及び企業債取扱諸費	95,449	34,320	61,129	102,691	38,155	64,536	△ 7,242	△ 3,835	△ 3,407	△ 7.1
繰延勘定償却	11,866	4,958	6,908	11,537	4,979	6,558	329	△ 21	350	2.9
雑損失	101,306	65,569	35,737	98,284	60,815	37,469	3,022	4,754	△ 1,732	3.1
訪問看護事業費用	87,506	47,545	39,961	82,907	44,108	38,799	4,599	3,437	1,162	5.5
給与費	81,261	45,001	36,260	78,109	42,472	35,637	3,152	2,529	623	4.0
材料費	6	0	6	93	43	50	△ 87	△ 43	△ 44	△ 93.5
経 費	5,598	2,163	3,435	4,492	1,473	3,019	1,106	690	416	24.6
研究研修費	641	381	260	213	120	93	428	261	167	200.9
通所リハビリテーション事業費用	30,666	0	30,666	31,025	0	31,025	△ 359	0	△ 359	△ 1.2
給与費	27,745	0	27,745	25,799	0	25,799	1,946	0	1,946	7.5
材料費	954	0	954	886	0	886	68	0	68	7.7
経 費	1,946	0	1,946	4,319	0	4,319	△ 2,373	0	△ 2,373	△ 54.9
研究研修費	21	0	21	21	0	21	0	0	0	0.0
特別損失	2,943	1,743	1,200	3,482	3,086	396	△ 539	△ 1,343	804	△ 15.5
過年度損益修正損	543	543	0	2,882	2,786	96	△ 2,339	△ 2,243	△ 96	0.0
その他特別損失	2,400	1,200	1,200	600	300	300	1,800	900	900	300.0
当年度純利益(ア)-(イ)	210,777	189,727	21,050	224,664	175,403	49,261	△ 13,887	14,324	△ 28,211	△ 6.2
当年度未処理欠損金	3,756,962	1,546,089	2,210,873	3,967,739	1,735,816	2,231,923	△ 210,777	△ 189,727	△ 21,050	△ 5.3
総収益対総費用比率(ア)/(イ)	103.5	105.4	100.9	103.9	105.2	102.0	△ 0.3	0.2	△ 1.2	

別表 22 病 院 事 業 資 産

(単位：千円)

	決 算 額	弥 栄 病 院	久 美 浜 病 院
固定資産	5,360,513	2,845,033	2,515,480
有形固定資産	5,346,643	2,838,810	2,507,833
土 地	505,187	101,998	403,189
建 物	3,243,402	1,812,465	1,430,937
構 築 物	94,979	28,819	66,160
器械及び備品	1,480,878	886,998	593,880
車 両	22,197	8,530	13,667
無形固定資産	2,470	523	1,947
電話加入権	523	523	0
下水道利用権	1,947	-	1,947
投 資	11,400	5,700	5,700
長期貸付金	11,400	5,700	5,700
流動資産	1,380,108	778,996	601,112
現金預金	313,351	152,353	160,998
未 収 金	1,035,572	607,969	427,603
貯 蔵 品	31,185	18,674	12,511
前 払 金	0	0	0
繰延勘定	71,627	23,579	48,048
控除対象外消費税額	71,627	23,579	48,048
合 計	6,812,248	3,647,608	3,164,640

別表 23 病 院 事 業 負 債

(単位：千円)

	決 算 額	弥 栄 病 院	久 美 浜 病 院
固定負債	518,765	319,190	199,575
企 業 債	518,765	319,190	199,575
流動負債	680,871	402,130	278,741
一時借入金	300,000	150,000	150,000
未 払 金	372,637	245,305	127,332
その他流動負債	8,234	6,825	1,409
負 債 合 計 (ア)	1,199,636	721,320	478,316

別表 24 病院事業資本金

(単位：千円)

	決算額	弥栄病院	久美浜病院
自己資本金	496,753	427,952	68,801
固有資本金	28,065	15,532	12,533
繰入資本金	71,268	15,000	56,268
組入資本金	397,420	397,420	0
借入資本金	3,706,553	1,538,473	2,168,080
企業債	3,706,553	1,538,473	2,168,080
資本金合計 (イ)	4,203,306	1,966,425	2,236,881

別表 25 病院事業剰余金

(単位：千円)

	決算額	弥栄病院	久美浜病院
資本剰余金	5,166,268	2,505,952	2,660,316
他会計負担金	3,416,078	1,414,528	2,001,550
補助金	1,613,461	1,059,274	554,187
寄附金	25,735	23,710	2,025
受贈財産評価額	110,994	8,440	102,554
利益剰余金 (a+b+c-d)	△ 3,756,962	△ 1,546,089	△ 2,210,873
減債積立金 a	0	0	0
利益積立金 b	0	0	0
建設改良積立金 c	0	0	0
当年度未処理欠損金 d	3,756,962	1,546,089	2,210,873
剰余金合計 (ウ)	1,409,306	959,863	449,443

資本合計 (イ)+(ウ)	5,612,612	2,926,288	2,686,324
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	6,812,248	3,647,608	3,164,640